「段落」と「改行」をつくる

空白や改行の扱い

HTML文書では、空白や改行の扱い方が変わっています。

- 空白
 - 半角スペース: 何文字入力しても、ブラウザでは一文字の空白文字として表示
 - 全角スペース: 入力した数だけの空白文字(全角)として表示
- 改行
 - 改行しても、ブラウザでは一文字の空白文字として表示

例えば、次のようなHTMLファイルは、

```
これは 空白のテストです。  
途中で改行しても  
つづけて表示されます。
```

ブラウザでは、次のように表示されます。

```
これは 空白のテストです。途中で改行しても つづけて表示されます。
```

「段落」をつくる

段落を作るには、**p要素**を使います。

```
<p>...</p>
```

ここでの「段落」(パラグラフ)とは、「1つの考えや意味を説明する文章の集まり」と考えてください。日本語の段落とは違い、最初の文字が1文字下げされません。

段落と段落の間には、大き目の空白ができます。

HTMLとブラウザでの表示例

例:

```
<p>  
ここでは、私の自己紹介をします。  
私の名前は、兵庫太郎です。年齢は19歳です。  
出身は、兵庫県加古川市です。  
</p>  
<p>今は、ウェブとデザインを熱心に勉強しています。</p>
```

ここでは、私の自己紹介をします。私の名前は、兵庫太郎です。年齢は19歳です。出身は、兵庫県加古川市です。

今は、ウェブとデザインを熱心に勉強しています。

「改行」をつくる

要素の中で、強制的に改行を作るには、**br要素**を使います。

```
...<br>
```

段落などの要素の中で、文章を強制的に改行させたい場合は、br要素を使います。この要素には、終了タグがありません。

なお、この要素を使って、段落を表現することはやめてください。

```
<h2>プロフィール</h2>  
名前は、    です。<br>  
出身地は   です。<br>  
所属は     学科です。
```

[次へ](#)進んでください。